

自主学習ノートを紹介します

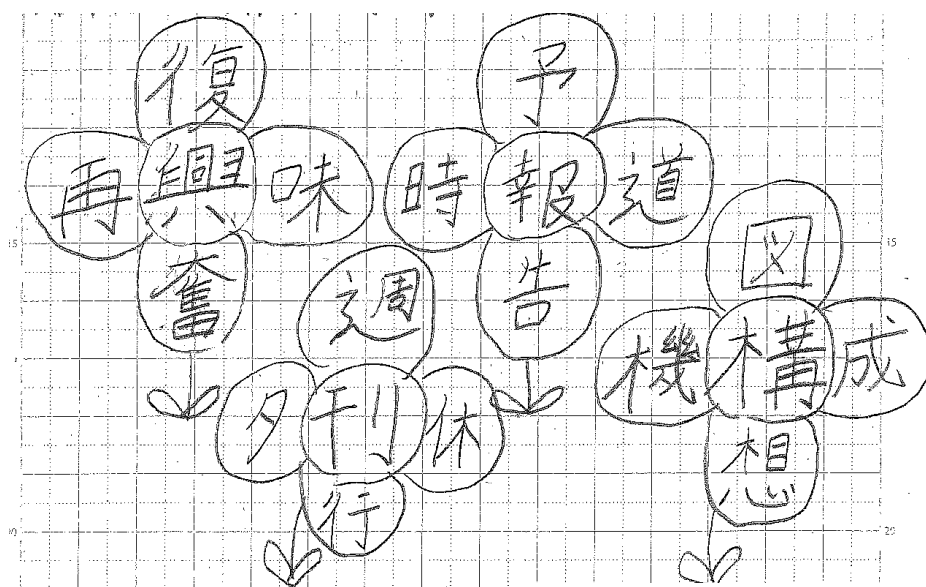
1学期も折り返しを迎える時期になりました。学期末まであと2ヶ月ですが、4月からの学習内容をふり返し、整理することで夏休みまでの学習もより確かなものにつながってくるかと思います。今回は高学年の自主学習ノートを取り上げます。見ていただきたいポイントは2つです。

① 苦手なものに、どうやって取り組むか。

② 日々の授業を、どのように整理するか。

この2つの視点から、例として紹介する自主学習ノートを参考にいただき、お子達への励ましのお声かけをおねがいします。

「苦手なものに、どうやって取り組むか」の例



＜漢字の花＞5年生

新出漢字を4つの円の真ん中に書き、熟語を書き表しています。

苦手漢字の学習こそ、熟語や文章で書き表した方が語彙の獲得につながります。

「日々の授業を、どのように整理するか」の例

5月27日 月
6:00 6:30

① 4.2 × 3.4 の筆算のしかたを考えよう。

4.2	4.2	4.2
× 3.4	× 3.4	× 3.4
168	168	168
126	126	126
1428	1428	1428

小数点を左に1つ移す。

② 積の小数点から下の数は、かけらる数とかける数の小数点から下のけたの数の和にする。

2.8	0.18
× 0.75	× 0.24
140	72
196	36
2100	0.0432

③ わたしは、小数点を動かすということをわすれずにいたい。

＜小数×小数の筆算＞5年生

どのような順序で計算をすればよいのか、図式化すること、自分の言葉で書きまとめることで、アウトプット型の自主学習につながります。

式と答えを書いてお合わるのではなく、図や式と対応した説明を書くことができることにより定着につながりますね。

日々の授業内容を自分の言葉で整理することは、アウトプットをするということです。算数科に限らず、理科や社会科においても学習内容を整理することで自分の知識として定着させることができます。